

2014年（平成26年度）複数年サイクル点検評価レポート【施策評価】

分野名	II-1 低炭素・省エネルギー社会の構築	施策 No.	5	施策名	低炭素化・温室効果ガス排出削減の推進（産業・業務）
-----	----------------------	--------	---	-----	---------------------------

目的、内容	<ul style="list-style-type: none"> 大規模事業者による自主的な低炭素化の取り組みを促進。さらなる削減が必要な場合は条例による取組み強化を検討。 中小事業者の設備機器の運用改善、CO₂排出削減クレジット等の経済的手法を活用した機器導入促進。 			
副次的効果、外部効果等	<ul style="list-style-type: none"> ①エネルギー使用効率化により、事業コストの削減が図られる。 ②人工排熱を削減する対策の場合は、ヒートアイランド現象の緩和に資する。 			
関係法令、行政計画等	<ul style="list-style-type: none"> ①地球温暖化対策推進法（H10年10月施行） ②大阪府温暖化防止条例（H18年4月施行） ③大阪府地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（H24年3月）：計画の本分野の行動計画として進行管理を実施 			
国等の政策、社会情勢等	施策 No.4「低炭素化の推進（家庭）」参照			
施策実施に要したコスト（職員人件費を除く）	事業のコスト（千円）	2011年度（決算額）	2012年度（決算額）	2013年度（決算見込額）
	環境目的の事業費	379,456	43,183	60,785
	本施策が主たる目的であるもの	361	0	0
	本施策が従たる目的であるもの	0	0	0
取組指標及び実績 （施策効果の定量評価）	名称	把握方法	実績	
	① 産業部門の温室効果ガス排出量（排出係数2008年固定の場合）	府地球温暖化対策実行計画の進行管理において把握	1,814万t-CO ₂ （2010年度） 1,830万t-CO ₂ （2011年度） 1,750万t-CO ₂ （2012年度）：前年度比4.3%減、1990年度比32.5%減	
	同（排出係数変動）	同上	1,737万t-CO ₂ （2010年度） 1,995万t-CO ₂ （2011年度） 2,013万t-CO ₂ （2012年度）：前年度比0.9%増、1990年度比22.3%減	
	② 製造品出荷額等（1千億円）当たりのエネルギー消費量	同上	1.69PJ/千億円（2010年度）、1.71PJ/千億円（2011年度）、1.65PJ/千億円（2012年度）	
	③ 民生（業務）部門の温室効果ガス排出量（排出係数2008年固定の場合）	同上	1,083万t-CO ₂ （2010年度） 1,036万t-CO ₂ （2011年度） 1,019万t-CO ₂ （2012年度）：前年度比1.6%減、1990年度比18.5%増（排出係数変動で算定すると、2010～12年度で39.7%増）	
	同（排出係数変動）	同上	980万t-CO ₂ （2010年度） 1,248万t-CO ₂ （2011年度） 1,369万t-CO ₂ （2012年度）：前年度比9.6%増、1990年度比59.2%増	
	④ 業務用床面積当たりのエネルギー消費量（全体平均）	同上	1,104MJ/m ² （2010年度）、1,049MJ/m ² （2011年度）、1,032MJ/m ² （2012年度）	
工程表の進捗状況	工程名	進捗状況*	主な事業の名称	事業の実施状況
	大規模事業者のCO ₂ 排出削減（温暖化防止条例の運用等）	☆☆	条例に基づく届出指導	計画期間2012～14年度の事業者について、2012年度の温室効果ガス排出量は2011年度比2.4%削減（年平均0.8%削減） 条例による届出事業者の取組みの評価制度導入について、環境審議会温暖化対策部会において、検討、審議中
	経済的手法を活用した中小事業者の排出削減（大阪版カーボン・オフセット制度の運用等）	☆	大阪版カーボン・オフセット制度の推進	中小事業者が創出したクレジット量6,533t-CO ₂ （2013年度末） （行動計画の目標：2012～14年度15,000t-CO ₂ は非達成見込）
	省CO ₂ 設備の導入促進	☆☆	大阪府グリーンニューディール基金市町村補助事業（2011）	市町村等が実施する地球温暖化防止のための設備整備に対して補助を実施（省エネ・グリーン化推進、EV充電設備整備、廃棄物由来エネルギー使用推進 計21事業、CO ₂ 削減効果1386.1t/年）
			省エネ・省CO ₂ 相談窓口の設置・運営	中小事業者の事業所のエネルギー使用状況の把握、現地調査、計測結果をもとに、省エネに係る運用改善等の提案を行う省エネ診断を実施。 診断件数：6件（2011年度）、36件（2012年度）、34件（2013年度）
	人工排熱の低減の促進（温暖化防止条例による大規模事業者の対策の推進等）	☆☆	大阪府温暖化の防止等に関する条例に基づく対策推進	建物緑化・屋根面等高温化抑制に関する届出1,463件（2006-13年度）
	フロン類の回収・破壊の促進	☆☆	オゾン層保護対策、第一種フロン類回収業者登録・指導業務	フロンの回収と適正処理のための啓発、空調機からの回収業者の登録及び指導の実施。府域の代替フロン等排出推計量：161万t-CO ₂ （2011年度）、182万t-CO ₂ （2012年度）
※進捗状況：☆☆☆計画以上の進捗/☆☆☆計画どおり/☆計画以下の進捗/△計画とは異なる事業内容で進捗				
評価	評価	理由等		
	施策目的の達成状況	順調に推移している	取組指標値①～④（温室効果ガス排出量については排出係数2008年固定による値）は減少傾向で推移している。 2011年度以降の排出係数固定で算出したCO ₂ 排出量の減少は、東日本大震災以降の節電意識の高まりが大きく寄与したものと考えられる。温室効果ガス排出量の計算に使用している関西電力の電気の排出係数は、震災以降、火力発電所の稼働増加により増加しているため、府内の省エネ取組等にもかかわらず、結果として府域全体の温室効果ガス排出量は増加している。	
事業・工程の進捗状況	一部は計画以下の進捗	大阪版カーボン・オフセット制度のクレジット活用は行動計画の目標を非達成見込み。 カーボンオフセットについては、全国的にクレジットの活用が見込みどおり進捗しなかった。カーボン・オフセットの取組は社会の中で一定程度の広がりをみせているが、事業者や一般市民の間においては、カーボン・オフセットの取組に触れる機会が少ないことやカーボン・オフセットの仕組みの分かり難さ等により、カーボン・オフセットの認知や理解が十分に進んでいない。（『我が国におけるカーボン・オフセットのあり方について（指針）』の見直しに関する検討会（環境		

			省)による「我が国におけるカーボン・オフセットの推進に向けた展望」(2014年3月)その他の取組みは概ね計画通り進捗している。
計画見直し又は改善事項		見直し・改善点の有無	見直し・改善点の内容等
	目標	有	「今後の温暖化対策について」(H26年11月 府環境審議会答申予定)の計画の目標の考え方を踏まえて、見直しを検討
	施策の方向・主な施策	有	「今後の温暖化対策について」(H26年11月 府環境審議会答申予定)の「民生(業務)部門」及び「産業部門」における取組みの方向性を踏まえて、見直しを検討
	工程表	有	
その他の改善事項	有	人工排熱低減はヒートアイランド対策として、「魅力と活力ある快適な地域づくり」分野の施策として記述	
関係課室	みどり都市環境室、循環型社会推進室		

環境総合計画部会委員による点検(所見)	点検評価手法の適正さについて	評価結果について	計画の見直し又は改善方針について
	評価手法は適正である。	全体として順調に進捗している。大阪版カーボン・オフセット制度のクレジット活用は、クレジットの買い手側の需要の変化によると考えられる。 ※対応・修正済	「今後の温暖化対策について」を踏まえて計画の見直しを行っていただきたい。その中で、必要があれば、点検評価の項目についても検討いただきたい。